

「ポケット」だより



2025年
秋号



パープルリボンには、女性に対するあらゆる暴力をなくしていこうとのメッセージが込められています。

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」週間です

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではなく、配偶者等からの暴力、性犯罪、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント等 女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

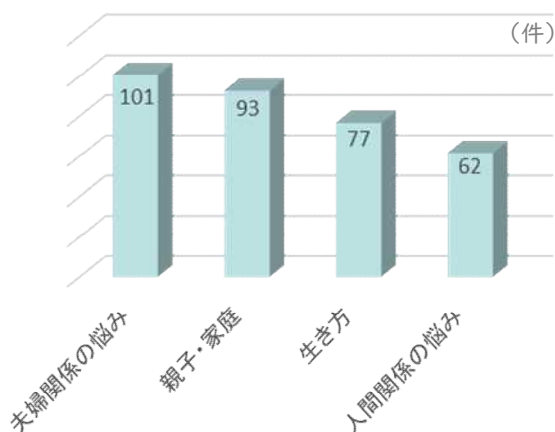
この運動を一つの機会にとらえ、京田辺市は、京都府田辺警察署との共同主催で、関係団体との連携、協力のもと、女性に対する暴力の問題に関する取組を進めます。

令和6年度「女性の相談室」相談状況

令和6年度「女性の相談室」の相談件数は388件でした。

主な相談の内容は「夫婦関係の悩み」に関する相談が最も多く、「親子・家庭」、「生き方」、「人間関係の悩み」と続きます。半数以上が、夫婦、親子、職場や近隣など、身近な人間関係についての相談でした。

「夫婦関係の悩み」の内訳では、「別居・離婚」が66件と、全ての相談の中で最も多く、次に「性格、生活上の不和・不満」となっています。夫婦関係の悩みの背景には、モラルハラスメントを含む暴力、DVが深く関わっていることが多く、DVについて理解を深めることが求められます。安心して健やかな暮らしができるよう、DVについて正しい知識を身につけ、私たちが被害に気づいた時に、何ができるのか、いっしょに学びませんか。



「女性に対する暴力をなくす運動」週間事業

啓発パネル展 11月12日(水)～25日(火) (市役所ロビー、女性交流支援ルーム)

街頭啓発 11月14日(金) 18時～18時30分 (近鉄新田辺駅周辺)

啓発講演会 テーマ：「DVはなぜ起こるの？ 自分事として考える」

11月19日(水) 14時～15時30分 (社会福祉センター)

講師：友杉 明日香 氏 (ウィメンズカウンセリング京都 フェミニストカウンセラー)

さまざまな分野における男女共同参画を推進するため、性別にとらわれず個性を発揮し、活躍している人を紹介します。

「ヨガを通して心と体を整える」

—大会に出場するようになったきっかけは—
私は介護福祉士として通所リハビリテーションで働きながら、ヨガインストラクターとして、多くの方に介護予防のためのヨガを伝えてきました。
現在は、視覚障がい者の方にもヨガを教えています。運動の機会が少ない視覚障がい者の方に対して、最初は手探り状態での指導でしたが、徐々に誰かに支えてもらわずともヨガのポーズができるようになり、続けるうちに皆さんの笑顔が見られるようになりました。視覚障がい者の方もヨガが出来て楽しめるということを知ってもらえるのは重要だと思い、ずっと自身のInstagramに活動を投稿していました。

—Beauty Japan大会は—
外見の美しさだけではなく、女性のキャリアを含んだ、内側から溢れ出す総合的な美しさを重視した大会です。この大会では、社会貢献に努める女性を発掘し、その女性たちの活躍の場を応援しています。
「コンテスト」というと美しさを競うイメージですが、Beauty Japanの大会は自分の活動を2分間のスピーチで観客に伝えることがメインとなっています。



▲Beauty Japan NANIWA ファイナリスト
介護福祉士・ヨガインストラクター

佐藤 真理 (さとう・まり) さん

その投稿が大会の主催者の方の目に留まり、大会に出場しないかと連絡をいただいたことが、大会に出場するようになったきっかけとなりました。

—大会に出場して良かったこと、大変だったことは—
観客から見てもどのような印象を持たれるのかと、自分を客観視して内観できたことは良かったと思います。

一方で、普段のヨガの指導とは異なり、舞台の上で相手の心に届くように話すのが難しかったです。感情を込め、色々な人が好意的に受け取る言葉選びや、話す間、声のトーン、スピードについても考える必要がありました。

—日頃心がけていることは—

自分の「心の声を聞く」ことです。誰しも頭であれこれ考えて心が疲弊する時はあると思いますが、その際は一旦立ち止まり、何が大切かを考えるようにしています。疲れた時には、綺麗な景色を見て外の空気を吸い、大きく背伸びをして深呼吸すると、肩の力が抜けて次に進むことができます。

—今後の抱負は—

ハンディキャップを持っている方がヨガを通して、自分もできることがあると気づくことは、自己の世界を広げるために大切なことだと思っています。障がいがあっても心の在り方や夢、希望の光を持っていたら何度でも咲き誇ることでできると感じています。ヨガを通して、自分らしく生きてもらうきっかけになればと願っています。

「ヨガを通して心と体を整えていただけたら、深呼吸はお守りです」と笑顔で話してくれた佐藤さん。その明るい人柄が、周囲の人を照らしているのではないのでしょうか。

詳細版はH4を「ご覧ください」！

女性交流支援ルーム情報ボックス等利用団体の紹介

男女共同参画に係る各種市民団体の情報交換、交流促進、活動支援を行っています。現在、10団体が登録されています。新規登録団体も募集しています。詳しくは、女性交流支援ルームまでお問い合わせください。

< まちの助産師さんin京田辺 >



相談会の様子です。

三山木駅近くにある南部まちづくりセンター「ミライロ」を中心に、月一回育児相談会を開催しています。

助産師だけでなく、理学療法士さんや産後ドゥーラさんなどもお招きして皆さんのお悩みに対応しています。

お気軽にお越しくださいね。

詳細はQRコードよりInstagramをご覧ください⇒



©MACHI.MW.KYOTANABE

「女性の相談室」より

ひとりで悩んでいませんか？女性の相談室では、女性の抱える悩みの解決に向けて、専門相談（フェミニスト・カウンセリング）や法律相談を下記のとおり行い、女性のカウンセラーや弁護士などが丁寧に話を伺います。

京田辺市
女性交流支援ルーム
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間
月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後 1時～5時

場所：女性交流支援ルーム
（アル・プラザ京田辺店2F）

▶ 専門相談

11月 6日（木）・11月 20日（木）
12月 4日（木）・12月 18日（木）・12月19日（金）
1月 8日（木）・1月 15日（木）

①13:30～ ②14:30～ ③15:30～

▶ 専門相談（午前分）

11月28日（金）・1月23日（金）

①10:30～ ②11:30～ ③12:30～

▶ 法律相談

11月26日（水）・12月24日（水）・1月28日（水）

①13:30～ ②14:00～ ③14:30～ ④15:00～

ご利用にあたり、予約が必要ですので、「女性の相談室」にお電話ください。料金は無料です。

情報ライブラリー

本・DVDの紹介

情報ライブラリーでは、各種情報や資料を収集し、男女共同参画に関する図書、DVDの貸し出しをしています。今回は、「女性に対する暴力をなくす運動」週間に関する図書・DVDをご紹介します。



本

『「助けて」と言える社会へ 性暴力と男女不平等社会』
大沢真知子 著

性暴力被害者の実態を社会に伝え、性暴力が生じるメカニズムを解明するとともに、性暴力のない社会を目指すために、一人ひとりがどう取り組むべきかまとめた一冊。

『「モラル・ハラスメント」のすべて 夫の支配から逃れるための実践ガイド』
本田りえ、露木肇子、熊谷早智子 著

DV（ドメスティック・バイオレンス）被害のうち、精神的暴力であるモラル・ハラスメントの基礎知識＝心理的サポート編、別居や離婚に向けた法的サポート編の2部構成で、わかりやすく解説。

『暴力を受けていい人はひとりもない』

阿部真紀 著

子どもや若い世代に対して、CAP（子どもへの暴力防止プログラム）やデートDV予防のワークショップを通じて、自分、そして相手をも大切に思う気持ちの重要性、暴力からの身の守り方を伝える。



DVD

『スタンドアップ』

監督 ニキ・カーロ

出演 シャーリーズ・セロン 他

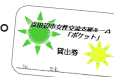
ミネソタの過酷な鉱山労働を背景に、全米初のセクシャル・ハラスメント勝訴を勝ち取った女性の実話に基づく衝撃のドラマ。セクハラ訴訟という現代的な題材を通して、全ての労働者、全ての人間の尊厳を見事に描き出した傑作。



図書はこのように分類して所蔵しています。

- | | |
|------------------|-------|
| • からだ・こころ | • 生き方 |
| • 家族・子育て | • 仕事 |
| • 暴力（DV・性暴力など） | |
| • 男女共同参画・女性学・男性学 | |
| • 絵本・シリーズもの | など |

図書はお一人2週間2冊、DVDは1週間1本借りることができます。
初めての方は「貸出券」をお作りします。
借りたい図書・DVD等を交流スペースにお持ちください。



貸出券

情報ライブラリー

図書等を借りることができます！

市内在住・通勤・通学の方なら、どなたでも図書等を借りることができます。
図書は、お一人2冊2週間まで
ビデオ（DVD）は、お一人1本1週間まで
※くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

交流スペース

市民のみなさんの交流の場等にご利用できます！

情報ボックスのご利用については、登録が必要になります。
※団体やグループでの利用について、くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

「女性の相談室」

女性が生きていく中でのさまざまな悩みをお聴きし、解決に向けて寄り添い、一緒に考えます。
一人で悩まず、安心して、ご相談ください。秘密は厳守します。

一般相談（予約不要）

月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

専門相談（要予約）

（フェミニスト・カウンセリング）

毎月 第1・3木曜日
偶数月 第4金曜日
午後1時30分～4時30分

法律相談（要予約）

毎月 第4水曜日
（祝日の場合は第3水曜日）
午後1時30分～3時30分

料金は無料です。まずはお電話ください。

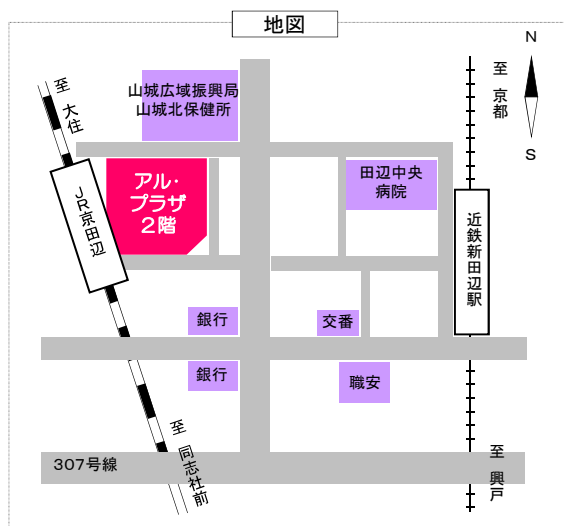
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間

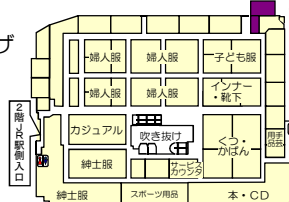
月曜日～金曜日
午前10時～午後5時



アクセス

JR 京田辺駅すぐ
近鉄 新田辺駅 徒歩5分
（アル・プラザ京田辺2階）

アル・プラザ
平面図



こちらが
女性交流支援ルーム
「ポケット」です。

開室日
開室時間
休室日

月曜日～金曜日
午前10時から午後6時まで
土・日・祝日 年末年始
アル・プラザ京田辺休業日

京田辺市 市民部 人権啓発推進課
京田辺市女性交流支援ルーム「ポケット」

TEL/FAX 0774-65-3709（直通）
〈相談専用〉TEL 0774-65-3727

愛称「ポケット」は、小さいけれど、いつでも情報が取り出せ、誰もが集まりやすい場所という意味で一般公募により名付けられました。

